☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

神戸新聞　平成２９年５月２６日（金）

自然災害の恐ろしさ訴え

自衛隊兵庫地方協力本部長

氷上西高

丹波市青垣町佐治の氷上西高校で25日、自衛隊兵庫地方協力本部（神戸市中央区）の六車昌晃本部長が「災害時の高校生の役割」をテーマに講演した。全校生約110人が、自然災害の恐ろしさや避難所でのボランティアの重要性などを学んだ。

防災教育の一環として、同校が同本部に依頼し初めて開催した。六車さんは、阪神・淡路や東日本大震災など多くの災害現場で活動経験がある。

六車さんはまず、被災地の写真を見せながら「自然を決して侮ってはならない」と強調した。そして「復興のスタートラインは避難所。適切な運営のためにボランティアが重要」と指摘。高校生の役割として、高齢者への声掛けやトイレ掃除、物資の配布・整理などを挙げ「誰もが嫌がることこそやってほしい」と訴えた。

3年の藤井早紀生徒会長(17)は「今日の学びを生かして災害時は率先して行動したい」と話していた。

（大田将之）

災害時の高校生の役割を伝える六車本部長＝氷上西高校

いっしょに読もう